

2班 ワークショップ内容

(1) 班内各意見の背景の確認

- ・前回話し合った分類を尊重し、カテゴリーの分類について話し合った。
- ・結論として、大きなくりで「人づくり」、「交流」、「情報の公開と共有」の3点とした。

「人づくり」について

ホワイトボード板書

- ・まちづくり（コミュニティ）は人づくり
- ・コーディネイトのできるリーダー
- ・自ら動く
- ・ジジ・ババ・よそ者の大切さ + 若者

← 巻き込む →

発表内容

- ・「まちづくり」に不可欠なのが「人づくり」であり、リーダーの育成はもちろん、それを支えるためのコーディネーターの育成が大切である。
- ・人に言われるのではなく、自ら積極的に参加する意識を皆で作り上げていきたい。
- ・いろいろな人たちの意見にまず耳を傾けて、その知恵や意見をまちづくりに反映させていくことが大事である。

「交流」について

ホワイトボード板書

- ・コミュニティの規模、広さ、大きさ } 形態は様々
- 集落・町内会の規模、広さ、大きさ }
- ↳ 運営を考えると... (人口)
- 各コミュニティの交流によるコミュニティづくり
- ・地域間 } 一体感の醸成
- ・世代間 } 自ら積極的な交流
- ・地域に人を戻す (パチンコ、個でのレジャー ...)
- ・シンボルづくり (ハードもソフト) } 一体感、特徴、地域性
- ・上越の顔づくり (特徴)
- ・歴史、伝統、文化

発表内容

- ・「コミュニティ」という言葉についての各委員のイメージが「町内会」、「学区単位」などそれぞれ異なっており、合併を機に他の地域との交流や世代間の交流、さらには他市町村との交流を通して幅広い情報を得ることが大切である。そのためには、まず「交流」を挙げるべきである。

「情報の公開と共有」について

ホワイトボード板書

- ・共有の手段 発信、公開、提供...
- ・情報を受ける側の意識、自ら求める
- ・対話の大切さ、重要さ（双方で共有、一体感）

発表内容

- ・情報を共有することにより、地域の文化や伝統などを様々な人々に知ってもらい、そうすることによって自然に「保存」という形になって繋がっていくのではないかと。
- ・また、自分たちの地域を知るということも大切である。
- ・市から広報やホームページなど様々な情報発信がされているが、受け手はきちんと吸収できているか。
- ・顔を見て、人と人が話をしながら伝えるのが一番良い方法だが、現実的にそれは困難であり、これからどのようにしていくか。
- ・この「情報の公開と共有」が我々の課題ではないか。

(2) 班としてのカテゴリーの決定

人づくり

交流

情報の公開、共有